



平成 29 年 5 月 22 日

各 位

会社名 東京電力ホールディングス株式会社
 代表者名 代表執行役社長 廣瀬 直己
 (コード番号 9501 東証第1部)
 問合せ先 経理室連結統括グループマネージャー 荒井 智康
 (TEL 03 - 6373 - 1111)

(訂正)「平成 29 年 3 月期 決算短信 [日本基準] (連結)」の一部訂正について

平成 29 年 4 月 28 日に公表しました「平成 29 年 3 月期 決算短信 [日本基準] (連結)」について、セグメント情報及び 1 株当たり情報に関する注記の一部を下記のとおり訂正いたします。訂正箇所については下線を付して表示しております。なお、財務諸表数値データ (XBRL) については、訂正はありません。

記

【訂正箇所】

16～18 項

(セグメント情報等)

<訂正前>

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度 (平成27年 4 月 1 日から平成28年 3 月31日まで)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	連結 財務諸表 計上額
	ホール ディングス	フュエル & パワー	パワー グリッド	エナジー パートナー			
セグメント資産	<u>6,339,951</u>	<u>1,728,966</u>	<u>5,083,210</u>	<u>556,795</u>	<u>13,708,923</u>	<u>△49,153</u>	13,659,769
その他の項目 持分法適用会社 への投資額	<u>259,554</u>	<u>200,049</u>	112,848	5,312	<u>577,764</u>	二	577,764

(注) 1. ～中略～

セグメント資産の調整額△49,153百万円には、セグメント間取引消去△48,410百万円等が含まれている。

当連結会計年度 (平成28年 4 月 1 日から平成29年 3 月31日まで)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	連結 財務諸表 計上額
	ホール ディングス	フュエル & パワー	パワー グリッド	エナジー パートナー			
セグメント資産	<u>11,229,957</u>	<u>1,481,923</u>	<u>4,492,835</u>	<u>1,002,571</u>	<u>18,207,288</u>	<u>△5,929,687</u>	12,277,600
その他の項目 持分法適用会社 への投資額	265,292	<u>400,981</u>	<u>119,559</u>	<u>5,575</u>	<u>791,409</u>	<u>58</u>	791,467

(注) 1. ～中略～

セグメント資産の調整額△5,929,687百万円には、セグメント間取引消去△5,929,127百万円等が含まれている。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、平成28年4月1日より、グループ全体の企業価値向上をはかるため、電力システム改革を先取りし、機能別に自律的・機動的な事業運営を行うホールディングカンパニー制へと移行した。この体制の下、報告セグメントは機能に応じた「ホールディングス（従来の「コーポレート」から名称変更）」、「フュエル&パワー」、「パワーグリッド」、「エナジーパートナー（従来の「カスタマーサービス」から名称変更）」の4つとしている。

また、報告セグメントの利益は、当連結会計年度から東京電力グループの経営目標における財務目標を「連結経常利益」としたことから、従来の「営業利益」から「経常利益」に変更している。

あわせて、報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額の算定方法を変更しており、セグメント間の内部売上又は振替高は、市場価格および原価を基準に決定した価格に基づき算定している。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、上記の変更をふまえて作成したものを開示している。

<訂正後>

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	連結 財務諸表 計上額
	ホール ディングス	フュエル &パワー	パワー グリッド	エナジー パートナー			
セグメント資産	6,340,865	1,739,616	5,083,245	556,805	13,720,533	△60,763	13,659,769
その他の項目 持分法適用会社 への投資額	260,169	200,385	112,848	5,312	578,714	△950	577,764

(注) 1. ～中略～

セグメント資産の調整額△60,763百万円には、セグメント間取引による債権債務の相殺消去△45,719百万円、投資と資本の相殺消去△10,659百万円等が含まれている。

当連結会計年度（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	連結 財務諸表 計上額
	ホール ディングス	フュエル &パワー	パワー グリッド	エナジー パートナー			
セグメント資産	11,230,363	1,950,465	5,274,223	1,138,271	19,593,324	△7,315,724	12,277,600
その他の項目 持分法適用会社 への投資額	265,292	401,622	120,009	5,786	792,710	△1,242	791,467

(注) 1. ～中略～

セグメント資産の調整額△7,315,724百万円には、セグメント間取引による債権債務の相殺消去△5,920,831百万円、投資と資本の相殺消去△1,384,452百万円等が含まれている。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、平成28年4月1日より、グループ全体の企業価値向上をはかるため、電力システム改革を先取りし、機能別に自律的・機動的な事業運営を行うホールディングカンパニー制へと移行した。この体制の下、報告セグメントは機能に応じた「ホールディングス（従来の「コーポレート」から名称変更）」、「フュエル&パワー」、「パワーグリッド」、「エナジーパートナー（従来の「カスタマーサービス」から名称変更）」の4つとしている。

また、報告セグメントの利益は、当連結会計年度から東京電力グループの経営目標における財務目標を「連結経常利益」としたことから、従来の「営業利益」から「経常利益」に変更している。

あわせて、報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失、資産の金額の算定方法を変更しており、セグメント間の内部売上又は振替高は、市場価格および原価を基準に決定した価格に基づき算定している。セグメント資産は、投資と資本の相殺消去における資産の消去について、従来の被投資会社のセグメントにて消去する方法から、投資会社と被投資会社のセグメントが異なる場合はセグメント間取引として消去する方法へ変更している。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、上記の変更をふまえて作成したものを開示している。

(1株当たり情報)

<訂正前>

3. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りである。

	前連結会計年度 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	—	<u>579</u>
(うち持分法適用関連会社の潜在株式による 調整額(百万円))	(—)	<u>(579)</u>

<訂正後>

3. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りである。

	前連結会計年度 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	—	<u>△579</u>
(うち持分法適用関連会社の潜在株式による 調整額(百万円))	(—)	<u>(△579)</u>

以 上